

事業所名

飯能市立つぼみ園

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2026年

6月

19日

法人（事業所）理念	◎自発的要求を育てましょう。 ・楽しい体験を積みましょう（「もっとやりたい」という要求表現） ・ハッキリ目覚め、グッスリ眠れる生活をしましょう（生活習慣の確立） ・見る！聞く！やってみる！経験を積み、自分で“できること”を増やしていきましょう（自信と意欲）					
支援方針	・児童が日常生活に基本的動作を習得し集団生活に適応することができるよう、心身の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導・訓練を行う。 ・事業の実施にあたっては、地域の保健・医療・福祉サービスとの連携を図り、総合的な事業の提供に努める。親子通園のため、保護者と共に児童の育ちを考えていく。 ・楽しいと思える遊びや生活の中で、自分で“できた”という心の充実・困った時に人に思いを伝えられる社会性コミュニケーションを育てる。					
営業時間	9時	30分から	15時	30分まで	送迎実施の有無	あり <input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/>
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	・基本的な生活習慣、生活リズムを身につけられるように支援する。（食事・排泄・着脱・清潔・睡眠などの働きかけ） ・生活の中で、様々な遊びを通した学びが促進されるよう環境を整え、生活に必要な基本的技能の獲得に努める。				
	運動・感覚	・姿勢や運動・動作の基本的技能の向上に努める。 ・運動機能・バランス感覚・力の強弱・距離感など様々な感覚の成長を促す遊びを提供する。（散歩・運動遊び・感触遊び・クッキングなど通して）				
	認知・行動	・子どもに合わせてどのような方法・環境であれば安心して生活できるか検討していく。（視覚的スケジュールで見通しを持つ・活動のきりかえ時の対応・タイマーの使用など） ・一人一人の認知やこだわり・感覚過敏などの特性を理解して、情報を適切に処理できるように支援する。				
	言語コミュニケーション	・言葉によるコミュニケーションだけでなく、指差し・身振り・発声・行動などで意思のやりとりが行える基礎能力が身につくように支援する。 ・話し言葉や動作などで相手の意図や気持ちを理解したり、自分の考えや思いを正しい言葉で表出することができるよう支援を行う。				
	人間関係社会性	・探索・模倣遊び、一人遊びから大人と、そして子ども同士での遊び等、その中で人との関わりの形成、自分の感情と行動の調整、仲間づくりと集団への参加の支援を行う。 ・困った時に人に伝えられる、また、順番や交代・ルールを守るなど、社会に適応するために必要な行動を身につけられるよう支援する。				
家族支援	・親子通園なので随時、保護者と一緒に児童の関わりを相談しながら成長を見守っている。（連絡帳・面談等含めて） ・父母学習会の実施 ・保護者に必要な情報提供（就園・就学等）また関係機関との連携を図る。	移行支援	・就園を見据え、入所相談のすすめ。（保育所園庭開放にも参加） ・就学説明会の実施。支援級・支援学校への保護者見学。就学後に小学校への引き継ぎ。 ・保育所体験の実施。			
地域支援・地域連携	・自立支援協議会の参加。 ・行事に地域の民生委員の参加を呼びかける。 ・個別支援会議に併用先（保育所・幼稚園）も参加し互いに情報共有を行う。 ・保健センター・教育センター・地域包括センターとの連携。	職員の質の向上	・定期的な職員会議や療育内容の振り返り。 ・研修の実施（ケース学習会・虐待防止・感染症・救命講習など）			
主な行事等	◎季節に合わせた行事 ・入園式・夏祭り・夏季事業（プール遊び）・運動会・お楽しみ会・親子登園（父親参加療育）・新年の集い・お別れ会・卒園式・避難訓練 ◎健診（歯科健診・内科健診）					